

第1回滝川市立地適正化計画策定委員会の開催結果について（要旨）

会議次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 策定委員の紹介
5. 委員長・副委員長選出
6. 委員長・副委員長あいさつ
7. 議事
 - (1) 立地適正化計画の概要及び今後のスケジュールについて
 - (2) 持続可能な都市づくりに向けた課題の整理状況について（意見交換）
8. その他
9. 閉会

策定委員会開催日・出席者数

令和3年12月24日（金） 13:30～15:30

参加者数 15名（委員8名、事務局等7名）



質疑応答

- 居住誘導区域外に家を建てようとする場合も届出が必要となるのか
→ 1戸建てる場合は必要とならないが、3戸以上の住宅を建てる場合は必要となる（資料1・P4）

主なご意見

- なぜコンパクトシティにしていくことが必要なのか、もう少し整理が必要
- 少子高齢化は避けて通れないので、ある程度機能をまとめていくことが必要
- 年々空き家が増えていると感じる
- 既存の交通手段だけでなく、色々な方法を活用して移動ネットワークを構築していくことが必要
- 3m以上の浸水想定区域に建っている公共施設に対する対策が必要
- 地域にあるスーパーがなくなるだけで暮らすことが難しくなる
- 資料3から妊娠出産や保育サービスなどの支援の優先度が高くなっているため、対策が必要
- 転入を呼び込み転出を抑制するまちづくりが必要（江部乙など風光明媚な地域は刺さる魅力があると思う）
- 外から来た人の意見を聞き、外から住んでもらうような魅力的なまちづくりが重要
- 1つのまちに必要なものが全部あるのは当たり前ではなくなると思う。
周辺地域と協力しながら滝川が中空知の中核であるというまちづくりが必要
- 20年後このまちで暮らしていくとすれば、労働場所の提供、民間企業にとって投資しやすい魅力的な施策が必要